

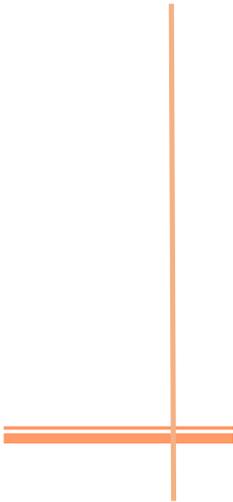
2017 MANIFESTO

マニフェスト レポート

新生

～緑のキラリと輝くまちへ～
亀山クオリティ 88 の新定番

令和2年11月



目 次

マニフェストの取組結果のまとめ	1
+2 戦略プロジェクト 地方創生	2
■ 「そして、親となる」定住促進プロジェクト	2
■ 「亀山駅周辺再開発」プロジェクト	3
7分野88の新定番	5
1 公の新定番	5
2 子どもの新定番	10
3 安心の新定番	16
4 活力の新定番	21
5 緑と文化の新定番	28
6 都市の新定番	35
7 市民の新定番	43

マニフェストの取組結果のまとめ

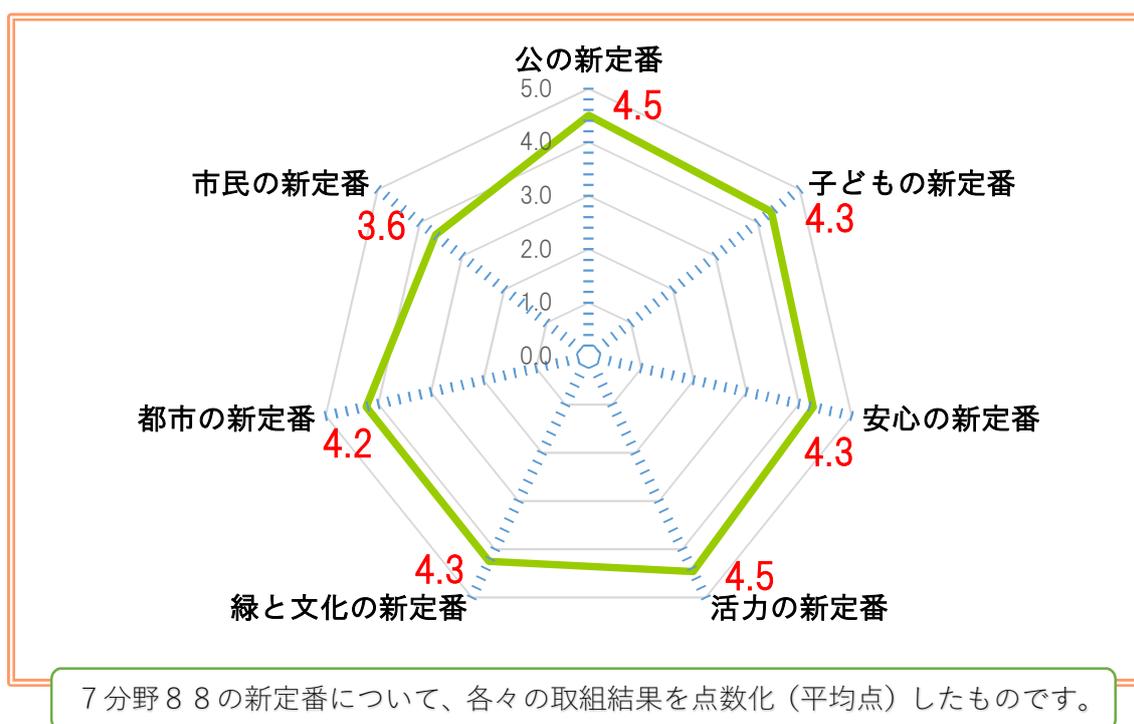
マニフェストに示した施策の取組結果（令和2年度分は、実績見込みを含みます。）を自己採点し、「マニフェスト レポート」としてお示しします。

■マニフェストの取組結果（7分野88の新定番の取組結果）（全88施策）

取組結果	施策数	比率
5 マニフェストを完全に実現した	37	42.0%
4 マニフェストをほぼ実現した	42	47.7%
3 マニフェストを実現するため、事業を開始、又は既存事業を拡大した	5	5.7%
2 マニフェストを実現するため、調査・検討を始めた	2	2.3%
1 未着手	2	2.3%
合計	88	100%

89.7%

【7つの分野別の取組結果（レーダーチャート）】



+ 2 戦略プロジェクト 地方創生

■ 若者が住みたくなる、亀山Quality。

「そして、親となる」定住促進プロジェクト

- 令和2年3月に、「子どもの笑顔が輝く 子育て交流のまち かめやま」を基本理念とする第2期亀山市子ども・子育て支援事業計画を策定しました。
子ども・子育てに関する取り組みを進めることにより、亀山市は、15歳未満の年少人口比率が県下14市中、第1位を継続しています。
- 近年の女性の社会進出や共働き家庭の増加に加え幼児教育・保育の無償化 等により保育ニーズが高まっている中で、低年齢児の待機児童の解消のため、平成29年度には、小規模保育事業施設の新設を支援し、低年齢児の受け皿の拡充を図り、平成30年度には、市内小規模保育事業施設2か所の利用定員の増加等により、さらなる受け皿の拡充を行いました。一方、平成30年度から令和元年度にかけ公設による放課後児童クラブの新規設置や民間による放課後児童クラブ新設への支援を行い、現在20か所の放課後児童クラブに運営の補助を行い、子どもたちに放課後や夏休みなどの適切な生活の場を提供することができました。
- 子育て世代包括支援事業では、母子健康手帳交付時に専門職による妊娠・出産・子育てに関する面談などを行い子育てプランを作成するなど、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない包括的な支援体制を整備することができました。
- 子育てに対する意識が高まるような講座や各種イベントを開催し、これらの情報発信ツールとして、SNSを利用した「LINE@子育てかめやま」の運用を開始するなどの様々な取組により親同士の交流や情報共有等が図られ、子育てが孤立しない環境づくりにつなげることができました。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、亀山版/特別定額給付金制度「はぐくみ」を創設し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。
- 全小学校で学校運営協議会が設置され、地域資源を生かした特色ある教育活動や地域との連携・協働等、特色を生かした取組を行うことができました。
- 定住支援員を配置したほか、移住フェアへの出展、移住体験ツアーの開催を行い、また、シティプロモーション専用サイトをホームページ上に立ち上げ、本市への定住の促進を図りました。

主要事業で位置付けられた事業数: 12 事業費: 16億8,853万円

福祉医療費助成事業（子ども）・子育て世代包括支援事業・放課後子ども教室推進事業・放課後児童クラブ事業・移住交流促進事業 他7事業

最後の市街地再生への切り札！

「亀山駅周辺再開発」プロジェクト

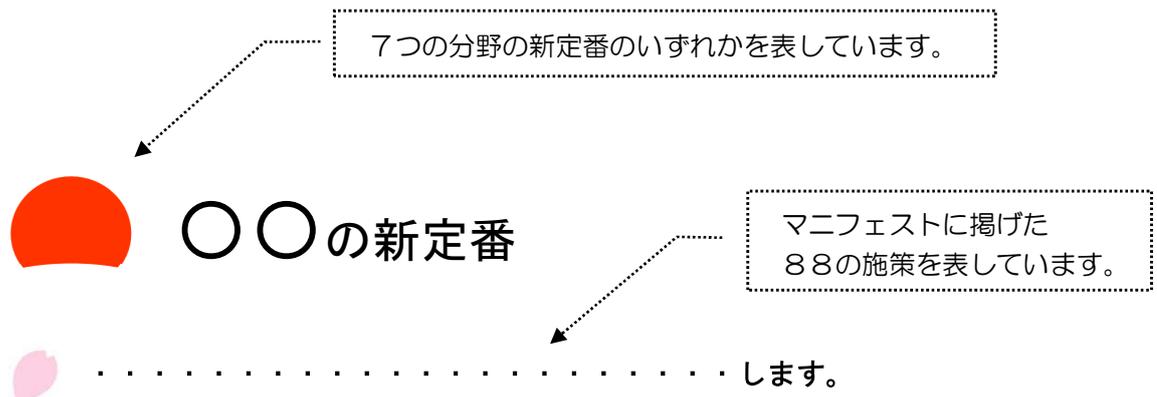
- 立地適正化計画及び都市マスタープランを策定し、コンパクト・プラス・ネットワークの構築に向けた方針を整理するとともに、中心的都市拠点となるJR亀山駅周辺においては、回遊性の高い複合都市機能集積地の形成に向け、具体的な整備方針となるエリアプランの策定に着手しました。
- JR亀山駅周辺におけるにぎわいづくりと機能向上を図るため、亀山駅周辺2ブロック地区市街地再開発組合への支援を行い、市街地再開発事業に係る平成31年2月に組合設立及び権利変換計画の三重県知事の許可を得て、事業の進捗を図ることができました。
現在、活力ある市街地の形成に向け、核となる亀山駅周辺2ブロック地区第一種市街地再開発事業による公益施設、商業施設、住宅が入る施設建築物や道路・駅前広場の整備が進められています。本年11月6日には、施設建築物新築工事の起工式が行われました。
また、居住環境や安全性の向上に向け、市道御幸1・6・7・8号線などの周辺道路の整備も進めています。
- 一方、亀山駅前での新図書館の整備に向け、平成29年7月に「亀山市立図書館整備基本構想」を、平成30年5月に「亀山市立図書館整備基本計画」を策定し、当該計画に掲げる取組を展開するため「図書館管理運営の基本的な方針」及び「図書館蔵書計画」を策定するとともに、新図書館の実施設設計を進めることができました。
- 中心的都市拠点と市内各地を繋ぐ新たな地域交通ネットワークとして、従来のコミュニティ系バス路線に加え、乗合タクシー制度の運行を開始し、高齢者の市中心部までの交通手段を確保しました。

主要事業で位置付けられた事業数: **5** 事業費: **41億3,221**万円

亀山駅周辺整備事業・都市開発資金貸付金事業・地域生活交通再編事業・
図書館整備事業・都市づくり戦略推進事業

■マニフェストレポートの見方

<例>



取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	 <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>マニフェスト実現のために 取り組んだ内容を示しています。</p>	

マニフェストに掲げた施策の取組結果を5段階で示しています。

- 5 マニフェストを完全に実現した
- 4 マニフェストをほぼ実現した
- 3 マニフェストを実現するため、事業を開始、又は既存事業を拡大した
- 2 マニフェストを実現するため、調査・検討を始めた
- 1 未着手

取組に関連する事業費を示しています。
事業費は、以下の合計額となっています。

- ① 平成29年度～令和元年度の決算額
- ② 令和2年度の予算額（9月補正予算含む）

7分野88の新定番

1 公の新定番

「開かれた市政」をめざし、**市民参画と協働**をさらに進めます。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	■市民と行政が、それぞれの持つ特性を活かしながら、住みよいまちにするという共通の目的に向かい、令和元年度までには、協働事業提案のあった28件の事業を実施するとともに、協働に関する講演会の開催等を行い、協働によるまちづくりを推進することができました。また、市外の団体も含めた協働事業が展開されるなど協働事業は一定の成果が得られました。	163

次世代へつげ回さない「身の丈で持続可能な財政運営」を継続します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	■第2次及び第3次行財政改革大綱に基づき、持続可能な財政運営の確立を目指した取組を行いました。また、長期的な財政的視点から総合計画を補完し実効性を高めるものとして、長期財政見通しを策定し、予算編成にかかる基礎資料として活用しています。	—

従来の一時的凍結方針を解除し、「市庁舎の建替え計画」の検討を始めます。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<p>■新庁舎整備に係る課題・問題点の整理し基本構想を策定したとともに、令和元年度からは新庁舎整備の具体的な計画となる基本計画の策定を進めています。計画策定に当たっては、ワークショップの開催など市民等の意見も踏まえながら、行政機能の集約や新庁舎の機能、建設予定地等について検討しています。また、新庁舎整備の財源確保のため、庁舎建設基金を計画的に積み立てました。</p>	169,086

6年間続けてきた市長の給与(5%)・退職金(20%)の減額措置を継続させます。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<p>■平成29年3月に亀山市長及び副市長の給与に関する条例を一部改正し、特別職の給料の額を5%、期末手当の基礎となる給料の額を5%、退職手当の額を20%削減することを継続しました。 【削減見込額】681万円</p>	—

私自身が推進本部長として「行財政改革」116項目を必達します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<p>■第2次行財政改革大綱前期実施計画の116項目、後期実施計画の86項目の必達に取り組み、市税や国民健康保険税などの収納率向上や企業誘致活動の展開等により、5年間で約4億2千万円の効果を得るなど、持続可能な行財政運営の確立に向け、取組推進を図りました。こうした取組により、市債残高が11年連続減少するとともに、地方公共団体の財政力を示す財政力指数をはじめ、経常収支比率、実質公債費比率が県下14市中高位を維持しています。</p>	—

さらなる「市役所の見える化」により、予算編成過程を公開します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<p>■当初予算のポイントを市民にわかりやすく市ホームページ等で情報発信するため、各市の状況調査や公開の手法の検討を行い、令和2年度当初予算の編成過程について、査定額等を議会閉会后に公開しました。</p>	—

現在の部室制を改め、より機能的な組織体制へと改変します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<p>■平成30年4月に部室制の2層体制から、部・課・グループの3層体制へ組織を再編し、部室制における課題でもあった職員のマネジメント能力を育成、強化する仕組みを構築するため、グループリーダーの職を設置しました。この組織機構の再編により、第2次総合計画に掲げた施策の着実な推進を図る体制が整い、一方、グループリーダーについては、グループの分掌事務の適正な進行管理や改善等において、それぞれリーダーシップを発揮し、マネジメント能力の強化を図ることができました。</p>	—

コンビニ収納の拡大による使用料・税の納付における市民の利便性向上をはかります。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<p>■平成23年度に導入したコンビニ収納を継続し、全国のコンビニで24時間納付可能な環境を維持しており、現在、農業集落排水処理施設使用料のコンビニ収納についての取組を行っています。また、令和2年度からはスマートフォンアプリ収納を開始し、また、全国のコンビニエンスストアでの各種証明書の交付を開始しました。</p>	40,499

長期計画に基づく「公共施設の再編統合」により維持管理コストを低減させます。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<p>■平成29年3月に「亀山市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設の更新や維持管理にかかる将来費用を60年間で約25%削減することを基本方針として、施設の再編・統合に取り組んでいます。平成29年度には、衛生公苑と関衛生センターを統合するとともに、老朽化した市営住宅から民間借上型市営住宅への住替えを促進し、5年間で27戸の用途廃止を行うなど、計画的な施設の統廃合によりコストの低減に努めました。また、令和元年度には、10年間の公共建築物個別施設計画も策定し、実効性を高めています。</p>	—

「新・ふるさと納税&クラウドファンディング」による新たな財源調達を実現します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<p>■ふるさと納税の寄附の用途を6つから9つに増やすとともに、返礼品を17品目に拡大し充実させ、ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」も活用しながら亀山市の魅力を市内外に発信した。また、同サイトを活用したクラウドファンディングについても研究を進めました。</p>	229

ICT活用によるオープンデータの開放による利便性向上をめざします。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<p>■市が保有するデータを、市民や地域、事業者などが利活用しやすいように機械判読に適した形で二次利用可能なルールの下、各種統計情報など41件のオープンデータを市ホームページで公開しました。</p>	—

来る2020年の「市制15周年記念事業」に向けた検討を開始します。

取組 結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	■市制施行15周年記念式典を開催し、市民や本市に縁のある多くの関係者の方々と共に、記念すべき節目をお祝いしました。また、自然・歴史・産業が調和し、未来に向け着実に歩み続ける亀山市の姿をわかりやすく伝える市勢要覧の作成・配布や市制施行15周年記念特集動画を制作・放映するなど、市への誇りや愛着の醸成に繋げることができました。	985

2 子どもの新定番

「第3子以降の保育料無料化」により、多子世帯の負担軽減をはかります。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■平成29年10月から市民税非課税世帯の第2子以降の利用者負担額を無償化し、さらに、平成30年4月からは幼稚園については所得割のみ非課税世帯を対象に拡大して第52子以降を無償化しました。また、令和元年10月からは幼児教育・保育の無償化に伴い、3歳以上児の利用者負担額を完全無償化することに加え、3歳未満児は非課税世帯を対象として利用者負担額を無償化しました。 ■義務教育修了までの児童の医療費に対して助成を行い、経済的な負担を緩和することにより、子育てをする世帯に対する子育て支援を行いました。 	78,437

児童生徒の「生きる力と真の学力」向上への教育力を高めます。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■亀山市学力向上推進計画【第3版】を策定し、児童生徒一人ひとりの「確かな学力」の向上を図るため、児童生徒の学力の課題を把握し、授業改善に努めた結果、基礎基本の内容の定着が図られました。 ■ALTを配置しネイティブな英語に触れる機会や優れた芸術を鑑賞する機会を確保し、体力向上に係る外部講師の派遣についても定期的に行いました。 ■地域の人材を活かした体験活動への参加、地域の方々の活動に対する思いや生き方を学ぶ学習などを各校の実態に応じて取り組むことができました。 ■小学校における過密学級の解消と、中学校における非常勤講師の活用によるきめ細かな指導を実践する少人数教育に取り組みました。 	25,992

小学校就学前までの「子ども医療費の窓口無料化」に向けて検討します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<p>■子ども医療費等の助成制度の対象となる小学校就学前までの子どもを対象に、市内の医療機関や薬局の窓口での支払をせず、その場で助成が受けられる「窓口無料化」を平成30年9月から実施し、さらに、令和元年9月からは、県内医療機関にまで「窓口無料化」の対象医療機関を拡大し、安心して子どもを育てられる環境づくりにつなげることができました。</p>	78,437

P T A活動・総合学習などを活用し親子が共に育む「亀山版・親学」を推進します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<p>■家庭・地域における教育力の向上を図るため、子育て中の保護者に対して学びの機会を提供するとともに、令和元年度に「かめやまお茶の間10選(実践)」を作成し、家庭だけでなく地域全体で子どもの育みを支えようとする意識の醸成を図りました。</p>	404

地産地消「かめやまっ子給食」の充実と「中学校の給食完全化」への検討を始めます。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■学校給食における地産地消を推進し、市内・県内産の食材を多用した「かめやまっ子給食」の提供を年20回程度実施しました。また、地場農畜産物利用推進事業を展開し、地域食材を活用した安心安全な学校給食の提供と食育推進を図るための研修会を実施しました。 ■中学校給食に関するアンケート調査を実施するとともに、先進地視察を行うなど、中学校における小学校のような給食の実施について、検討を進めました。 	111

不登校や児童虐待・育児放棄などネグレクトに対する相談支援体制を充実します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもたちの生活環境等が複雑化・多様化する中、巡回相談員を派遣しました。また、魅力ある学校づくりを推進するために関係機関との連携を行いました。 ■子ども家庭総合支援拠点として、全ての子どもとその家庭及び妊産婦等を対象に、心理・教育・保育等の相談を受け、保健・福祉・医療・教育等の関係機関と連携し必要な支援に繋がるよう体制を整えました。 	7,698

幼稚園・保育園の一元化と市内2つ目となる「認定こども園」を整備します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
3	■旧法務局・裁判所跡地を活用する「認定こども園整備事業」について、平成29年度から事業化し、地域への説明会や地元自治会の個別ヒアリングを実施し、事業実施に向けた課題の整理を行いました。	—

退職教員による学習支援・亀山モデルの充実により「脱・貧困の連鎖」をはかります。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	■生活困窮等により、家庭での学習環境が厳しい生徒に対して、土曜日等の教育課程以外の時間に個別に学習支援を行うことで、基礎学力の定着を図ることができました。	1,086

放課後児童クラブ・居場所づくりなど各小学校区にあった放課後対策を支援します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■平成30年度には昼生小学校区に市による放課後児童クラブの新規設置、西小学校区に民間による放課後児童クラブ新設への支援を行い、令和元年度には亀山南小学校区及び川崎小学校区に市による放課後児童クラブの新規設置、井田川小学校区に民間による放課後児童クラブ新設への支援を行いました。現在20か所の放課後児童クラブに運営の補助を行い、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業の終了後や夏休みなどに適切な生活の場を提供しています。 ■地域での子どもの体験学習や地域の大人との交流活動を通じて、地域の中で子どもが育まれる居場所をつくるため、放課後子ども教室について、持続的展開のための委託業務化を進めました。 ■夏休み等の長期休暇の際、保護者が就労等により家にいない小学生を対象とした「子どもの居場所」を開所することにより、子どもの安全な居場所の確保等に取り組みました。 ■新型コロナウイルス感染症対策として、放課後児童クラブが感染防止対策物品の購入するための補助を行い、安心な放課後児童の居場所の確保の支援を行うことができました。 	69,736

亀山初「社会的養護施設」の設置を支援します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■平成28年に寄付を受けた土地建物を活用し、市内で初めてとなる児童養護施設の開設（令和2年4月）に支援を行いました。 	—

21世紀にふさわしく**魅力ある図書館**への改善のための方策を検討します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<p>■ JR亀山駅前での新図書館の整備に向け、魅力ある図書館への改善のため、図書館が単に知との出会いを提供するだけでなく、新たな知の蓄積の場となるとともに、市民一人ひとりの学びに応え、市民の誰もが集える場となるよう平成30年5月に「亀山市立図書館整備基本計画」を策定しました。さらに、この計画に掲げる取組を展開するため「図書館管理運営の基本的な方針」及び「図書館蔵書計画」も策定しました。</p>	81,582

小中学校の普通教室における**空調設備を100%整備**します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<p>■ 令和元年度までに、小学校・中学校・幼稚園ともに全ての普通教室、音楽室、保育室等への空調設備設置事業が完了し、熱中症予防など健康管理面での課題に対処することができました</p>	24,173

3 安心の新定番

緑の健康都市をめざす「WHO健康+10プロジェクト(仮称)」を展開します。

取組結果	取組内容	関連事業費(万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 総合計画の戦略プロジェクト「健都さびり」プロジェクトにおいて、平成30年7月の健康増進法の一部改正に先行し、市民や地域の主体的な健康づくり活動を支えられる環境整備として、市が管理する庁舎・学校など公共施設における受動喫煙防止対策を実施するとともに、法改正に合わせて公共施設等の受動喫煙防止対策ガイドラインを策定しました。また、三重県が実施する「三重とこわか健康マイレージ事業」と連携して「亀山市健康マイレージ事業」を開始し、市民が健康的な生活習慣を心がけ、健康寿命の延伸につなげられる事業を展開しました。 ■ 新型コロナウイルス感染症対策として、免疫力を高める健康づくりに関するリーフレットにより市民啓発を図る「WHO健康都市/免疫力アップ大作戦」を展開しています。 	1,084

在宅医療を核とする「地域包括ケアシステム」をさらに充実します。

取組結果	取組内容	関連事業費(万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■ ICTを活用した医療・介護多職種連携情報共有システム「バイタルリンク」を導入し、多職種連携強化を図り、利用登録者数の増加に繋げました。 ■ 亀山市在宅医療連携システム「かめやまホームケアネット」を運用し、在宅医療の充実・医療介護の連携を強化に努めました。 ■ 市立医療センターに地域包括ケア病床を開設しました。(H29:15床、H30:19床、R2:27床) 	1,905

全国をリードする30歳以上5歳毎の歯周病検診を実施します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■国の制度（健康増進法）よりも対象年齢及び検診間隔を引き下げ、30歳から70歳まで5歳毎の年齢の方を対象に、歯周病検診事業を行い、壮年期からの口腔の健康づくりの促進を図りました。 	919

介護予防や認知症対策につながるサロン活動の拠点を100ヶ所に増やします。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)												
4	<ul style="list-style-type: none"> ■新しい総合事業の開始により、サロン活動の団体数は令和元年度には99ヶ所まで増え、開催回数についても年々増えており、地域の通いの場として高齢者の外出機会の提供や対象者同士の交流の場を設けることができ、介護予防活動の啓発に努めました。 ■市広報や介護予防の手引きによる普及啓発のほか、介護予防教室・認知症予防教室の開催など、介護予防の推進に努めました。 <p>【介護予防教室・認知症予防教室の開催など】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体数</td> <td>78 団体</td> <td>89 団体</td> <td>97 団体</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>1,758 回</td> <td>1,854 回</td> <td>1,950 回</td> </tr> </tbody> </table>		H29	H30	R1	団体数	78 団体	89 団体	97 団体	開催回数	1,758 回	1,854 回	1,950 回	1,326
	H29	H30	R1											
団体数	78 団体	89 団体	97 団体											
開催回数	1,758 回	1,854 回	1,950 回											

医学生・看護学生などへの奨学金制度と「三重大学亀山地域医療学講座」を継続します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■看護学生への奨学金支援(入学支度金又は修学資金の貸与)を継続して行うとともに、寄附講座設置協定書に基づき三重大学に寄附を行いました。 ○奨学金支援(入学支度金又は修学資金の貸与)を受けた看護学生8人(新規貸与数) ○派遣された医師数2人(総合診療科医師1人・整形外科医師1人) ○研修医受け入れ人数2人 ○医学生受け入れ人数12人 ○医療カフェ開催(講座の総合医、研修医、医学生)6回(延べ参加155人) 	12,480

各種ワクチン/予防接種による感染症対策を進め、医療費抑制を実現します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■日本脳炎、インフルエンザ、MRなど予防接種法に基づく定期接種及び任意接種費用の一部助成を行い予防接種の普及を推進し、感染症の地域での流行や重症化を防止し、市民の健康管理・増進を図るとともに、医療費抑制に努めることができました。 ■新型コロナウイルス対策として、高齢者等の予防接種費用を無償化し、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に伴う医療の混乱と重複感染による重篤化を防ぐ取組を行っています。 	67,366

歩いて楽しく健やかに「亀の細道ウォーキング」の愛好者を増やします。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<p>■ 地域の人に健康体操やウォーキング等の健康づくりの大切さを伝達・情報発信するための基礎的な知識を習得することを目的とした、健康づくり応援隊養成講座を実施しました。また、養成講座終了団体のうち希望があった団体へ支援を行い、今後の活動の継続につなげることができました。</p>	96

亀山流「スローフード＝不老フード」運動により食生活の改善を進めます。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)												
4	<p>■ 食生活改善推進協議会会員を講師に、あいあいや地区コミュニティセンター等で料理講習会を行い、正しい食生活について啓発を図りました。</p> <p>【料理講習会（あいあい開催分）の開催等】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>62人</td> <td>66人</td> <td>59人</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 平成29年度にはヘルスマイトを養成するための栄養教室を開催し、18名が修了しました。</p>		H29	H30	R1	開催回数	4回	4回	4回	参加人数	62人	66人	59人	70
	H29	H30	R1											
開催回数	4回	4回	4回											
参加人数	62人	66人	59人											

タブレット端末を活用した「亀山QOL・未病クラブ」の社会実験を推進します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<p>■ タブレット端末を活用した亀山QOL支援モデル事業を展開する中で、未病倶楽部の「健康データ測定記録」を実施し、高齢者の健康管理や認知症予防の促進につなげることができました。</p>	1,444

市立医療センターの経営健全化と「地域包括ケア病床」を新設します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■在宅復帰支援による地域包括ケアシステムの構築に寄与するとともに、経営の健全化を図るため、平成29年4月に地域包括ケア病床を開設しました。 (H29:15床、H30:19床、R2:27床) ■亀山市在宅医療連携システム「かめやまホームケアネット」では緊急時等の入院やレスパイト入院の後方支援病院としての体制を整え、在宅療養者の支援を行いました。 ■PCR外来検査センターの設置など、市立医療センターにおける新型コロナウイルス感染症対策に補助金等の有効活用を図りました。 	38

国民健康保険制度の運営主体の県移行にともなう変革に的確に対応します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■国民健康保険制度改革に向けたシステム改修等を行い、平成30年度からの県の財政一元化に伴う環境を整備しました。 	1,692

4

活力の新定番

新しい産業振興条例の奨励制度により、**地元雇用・事業所移転**を誘導します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■平成29年4月に産業振興奨励条例を改正し、制度の充実を図ることができました。また、産業振興奨励金制度により、市内民間産業団地への新規立地1件や既存企業の設備投資拡大1件があり、100人の新規雇用に繋げることができました。 ■亀山・関テクノヒルズに新たに10区画の分譲地が造成され、県や産業団地開発主体と連携し、首都圏での企業セミナーでのPRや企業立地フェアへのブース出展など積極的な誘致活動を行い、8区画に5社を誘致しました。 	14,248

観光・サービス・商業分野における地域経済・雇用・所得の拡大を実現します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■小規模事業者等を対象とした専門家の個別の経営指導による経営力向上の取り組みを支援することで、地域産業の活性化を図りました。 ■空き店舗改修補助金を創設し創業希望者を経済的に支援するとともに、商工会議所、観光協会との連携した取り組みにより、関宿内の観光関連店舗数が増加しました。 (H29:22件、H30:24件、R1:30件) ■新型コロナウイルス感染症対策のとして、小規模事業者経営改善資金の実質無利子化をはじめ、販路開拓や生産性の向上等の取り組みを支援するための経営向上サポート事業補助金の創設、飲食店におけるお得なテイクアウト商品開発・販売を支援する「亀山エール飯チャレンジ事業」の創設、コロナ禍で減収した市内事業者を支援する亀山版/持続化給付金制度「けいぞく」の創設、消費喚起を促すとともに売上が減少した市内事業者への支援を行う市内限定プレミアム付商品券「TAKERU・たちばな」の発行など、様々な取り組みを効果的に展開し、地域経済の下支えを行うことができました。 	30,796

農業委員会の制度改革「攻めの農地利用」への推進体制を整備します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■人・農地プランの実質化や担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消の取り組みをさらに進めるため、令和2年度より、農業委員及び農地利用最適化推進委員の報酬を基本給とは別に活動実績に応じて能率給を支給できるよう制度改革しました。 	1,027

Kameyama流「働き方/暮らし方のバランス」を探ります。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<p>■平成29年度から、11月の第2土曜日からの16日間を「亀山市ワーク・ライフ・バランス推進週間」として設定し、「仕事と仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる「ワーク・ライフ・バランス」について考え、実践するための機会としました。</p> <p>ワーク・ライフ・バランス週間期間中には、市内事業所の事例発表や講演会の開催、文化体育施設の無料開放を実施など、各種団体と連携し、啓発に取り組みました。</p> <p>■多様な働き方によりワーク・ライフ・バランスが推進できるよう、企業向け研修会を開催するほか、顕著な取組を実施している企業等の紹介や表彰制度を確立し、令和2年度に市内企業6社を表彰しました。</p>	202

産業界・金融界・労働界・公募市民等による「経済雇用政策会議(仮称)」を設置します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<p>■産業界・金融界・労働界、有識者で構成する「亀山地域産業活性化委員会」において、亀山地域産業活性化基本計画の策定など、必要に応じて経済雇用政策に係る意見聴取を行いました。</p>	—

市外在住の移住・U I Jターン志向の方々に「選ばれるまち」を提案・発信します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高校生とその保護者を対象とした就職懇談会を開催し、地元企業情報の提供と就職活動の支援に努めました。メルマガ登録者に対しては、定期的に就職情報等の提供を行いました。 ■ 平成29年3月に開設したシティプロモーション専用サイトを通じて、市外の方に亀山市の魅力を分かりやすく伝えられるよう、市の各種制度やイベント情報の紹介に加え、移住者等のライフスタイルインタビュー記事やまちの魅力紹介ムービーなどを掲載し、生活者自らの声や姿など、共感性の高い情報発信を行いました。 ■ 首都圏から本市への移住定住の促進、観光等の交流人口や二拠点居住等の関係人口の増加に向け、PRや情報発信、移住相談等を行う「移住・交流促進アドバイザー」を募集し、移住定住の取組強化を図りました。 	1,128

工業団地「亀山・関テクノヒルズ」への成長分野の企業立地を促進します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成30年度完成の新区画に、寿がきや食品(株)、エア・ウォーター(株)、富士発條(株)など、トップセールスを行いながら企業誘致を進めました。 	—

「カメジョブキッズ」や熟練の職人などによる子ども達への**職業体験の機会**を増やします。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■事業者、商工業団体、行政が一体となり、子ども達が地域企業の職業体験を行う機会として、亀山商工会議所が主催する「カメジョブキッズ2018」を支援しました。 ■中学校において職場体験や交流学习などの体験活動を通して、生徒の社会性などの育成を図ることができました。 	379

後継者不足にある農業・林業分野での**経営体・担い手の育成**を促進させます。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■地域の中心となる営業体（担い手）を確保し、集落単位での「人・農地プラン」の作成を支援することで、農地利用の促進に繋がりました。 地域農業を支える生産組織の持続的な経営を図るため、生産調整を行う組織に補助金を交付し、農業経営の安定化を図ることができました。 ■林業施業の効率化と、安定した事業量を確保し経営の安定化が図られるよう、林業事業体の森林整備事業に対し補助金を交付し支援を行いました。 	9,977

「伊勢ノ国・亀山まほろば」**街道観光**との連携により観光入込15%増大をめざします。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■「まち遊ぶ～亀山まほろば街道～」事業を「かめやま文化年2017」の企画事業として実施し、亀山市の魅力を発信することができました。 ■商工会議所、観光協会との連携により、様々な機会に観光PRを行った結果、関宿来訪者は16%増となりました。 <p>【関宿来訪者の推移（玉屋歴史資料館）】 H29：13,838人、H30：15,211人、R1：16,050人</p>	339

亀山紅茶・みそ焼きうどん・亀山ラーメンに続く「**食の6次産業化**」を進めます。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
3	<ul style="list-style-type: none"> ■地域ブランド認定制度を確立し、商品のブランド化を行うことにより、既存特産品の販路拡大と新規特産品の発掘から販路確保までを一貫して支援するため、農商工が連携して事業展開のための調査・研究を行いました。 	90

コミュニティビジネスや意欲ある**若者・女性の起業化**を応援します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■創業塾の継続的な開催や空き店舗等活用支援補助金を創設するなど、若者・女性への支援も充実させながら、市内での創業を促進することができました。 	1,520

関宿などにおけるWi-Fiスポットを拡大します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	■玉屋歴史資料館、百六里庭、いっぴく亭に加え5箇所（計8か所）にWi-Fiスポットを増設し、関宿における通信環境を整え、観光客の利便性の向上を図ることができました。	151

5

緑と文化の新定番

鈴鹿川・最上流地域を有する誇りと責務「鈴鹿川源流のもり条例（仮称）」を制定します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鈴鹿川等源流域における歴史的資源とそれらを生み出した源流域の豊かな自然環境をかけがえのない財産として守り、次世代に継承することを目的とした「亀山市鈴鹿川等源流域の自然環境と歴史的資源を守り継ぐ条例」を平成31年3月29日に制定・施行しました。 ■ 産学民官で構成する鈴鹿川等源流の森林づくり協議会を設立し、地域資源を守り未来へ繋げる活動を行っています。 	240

田園都市・亀山らしい「農ある暮らし・半農半〇」を提唱します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都市部での移住フェアへの参加や農業体験を取り入れた市内体験ツアーの開催等を通して、亀山市への移住をPRすることができました。 	1,376

全国をリードするゴミ処理方式「埋め立てゼロ/山元還元」を継続させます。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 廃棄物の溶融処理後に発生する溶融飛灰は、山元還元方式により発生全量を再資源化処理し、最終処分量ゼロを継続しています。 	15,998

鈴鹿山系に魅惑のトレッキングコース「**亀山7座トレイル（自然遊歩道）**」を整備します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■平成30年に亀山7座を選定し、市民活動団体である亀山7座登山道活用ネットワークを結成し、登山道の調査や修繕を行い、7座トレイルを整備しました。継続的に講習会や登山イベントを実施し、鈴鹿川等源流域の自然の素晴らしさを発信しています。また、令和3年6月に、亀山7座の高畑山周辺をメイン競技会場として、第68回東海高等学校総合大会の登山競技が開催されることが決定しました。 	735

地域の防犯灯などの**LED化**を更に促進します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■防犯環境の向上は、安心して暮らすことができる地域社会の実現を図るため、151基のLED防犯灯の新設と、662基の既存防犯灯のLED化を行いました。 ■道路照明灯のLED化を計画的に進め、平成29年度に14基、平成30年度に23基、令和元年度に14基、令和2年度前期に14基、計65基の照明灯のLED化を行いました。 	8,594

市直営・コンポストセンターの経営効率化のため、**民間委託へと転換**します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■市が直営で運営してきた亀山市刈り草コンポスト化センターは、平成31年4月に民間事業者へ運営移譲し、経営の効率化を図ることができました。 	14,632

地球温暖化防止としての**環境林整備**と**木材利用を促進**します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■森林の持つ二酸化炭素吸収による地球温暖化防止、水源のかん養、災害防止など公益的機能を持続的かつ高度に発揮するため、環境林約310haを整備しました。 ■森林環境譲与税を活用し、手入れの行き届かない森林の適正管理に向け、鈴鹿川最上流域となる坂下地区において事業着手しました。 ■亀山木材産業協同組合と協働し、木工教室を開催するなど地域材のPR活動を行いました。また、地域材の魅力を発信することにより、地域材を活用した関の山車会館などの建築や製品の購入を促しました。 	12,430

「亀山市民大学・キラリ」に**環境大学院**を設置します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■平成29年3月に策定した生涯学習計画に基づき、新しい学びの場である「かめやま人キャンパス」を令和元年度に開講し、受講者が地域の中で活躍できるような実践的な学びを展開しました。 	5,692

多彩かつ創造的な「かめやま文化年プロジェクト」を推進します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■かめやま文化年2014での「みつめる」、2017での「つながる」で育まれた人や文化のつながりにより、亀山市の文化資源の価値を更に高めました。 ■令和2年度のかめやま文化年2020は、「かがやく」をテーマとし、今まで培った文化にさらに工夫を加え様々な人や団体が自己表現による満足感を感じれるよう、テーマに沿った各種事業、イベント等について検討し実施計画を策定しました。 かめやま文化年2020に向けて、文化年プレ事業等を実施し、様々な人や団体が文化に触れ、文化交流できる機会となるよう、亀山の文化を市民だけでなく市外・県外へも情報発信し、気運を高めました。 	3,967

日本三関の一つである「鈴鹿の関」国史跡登録を実現します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■発掘調査等の結果、鈴鹿関の西外郭線（一部）の位置と構造が確認され、その部分について国史跡指定への意見具申を行いました。 	781

三重国体への準備として、西野公園体育館の空調設備と野球場を芝生化します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	■平成30年の全国高等学校総合体育大会や令和3年三重とこわか国体の開催に向け、競技会場となる西野公園体育館の空調設置、野球場の人工芝敷設を中心とした改修を行い、快適な競技環境を整備しました。	31,690

東海道と鈴鹿峠を舞台とする自転車競技「ヒルクライム・鈴鹿峠(仮称)」開催に挑みます。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
1	(東海道と鈴鹿峠を舞台とする自転車競技開催について検討を行った結果、自転車競技の開催には至りませんでした。)	—

名誉市民・中村晋也氏の作品の展示・設置等を進めます。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	■市美術展に、毎年、中村晋也氏の作品を展示し、積極的に優れた文化芸術を鑑賞できる機会を提供できました。 平成29年度には、市美術展特別展として「中村晋也・上田秀洋 二人展」(名誉市民・中村晋也氏6点、市文化大使・上田秀洋氏18点を展示)を実施しました。	1,005

50,000都市の百科事典として「平成版・九々五集」を編纂します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
1	(50,000都市の百科事典としての「平成版・九々五集」の編纂について検討を行った結果、「平成版・九々五集」の編纂には至りませんでした。)	—

アートと街なみを活かした「亀山トリエンナーレ」の開催を支援します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<p>■東町商店街・西町旧東海道沿いで、現代美術の祭典「亀山トリエンナーレ2017」が開催され、総勢102組の作品が、商店、民家、市文化財などに展示され、市内外から多くの来場者が訪れ、魅力にあふれた現代美術の世界を感じる機会を創出することができました。</p> <p>■市美術展に、毎年、中村晋也氏の作品を展示し、積極的に優れた文化芸術を鑑賞できる機会を提供できました。</p> <p>平成29年度には、市美術展特別展として「中村晋也・上田秀洋 二人展」(名誉市民・中村晋也氏6点、市文化大使・上田秀洋氏18点を展示)を実施しました。(再掲)</p>	1,005

市内の鉄道遺産・金王道・安楽越・ヤマトタケル御陵などの歴史的・文化的資源を磨きます。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 明治23年(1890)の鉄道開業当初の面影を色濃く残す鉄道遺産群を広域的に活用するため、伊賀市及び甲賀市と連携して歴史的鉄道構造物を巡るウォーキング事業の実施に向けた協議を進め、来年度実施の予定をしています。また、JR加太駅舎については、鉄道利用者等の利便性を向上させるとともに、地域のにぎわいと交流、歴史観光資源の情報発信の場として活用するため、木造駅舎の佇まいと温もりを残した駅舎改修を進めています。 ■ 「かめやま文化年2017」の企画事業の一つである「まち遊ぶ～亀山まほろば街道～」事業を実施し、「かめやま歴史みちサミット」では金王道ウォーキング10周年記念講演を行うなど、鉄道の町としての亀山市の魅力を発信することができました。 ■ 日本武尊白鳥伝説にゆかりにある大阪府羽曳野市・奈良県御所市との市民レベルの交流促進をはじめ、日本書紀編さん1300年の節目の年に当たり日本武尊・弟橘媛をテーマとした企画展や情報発信等を行いました。 ■ 計画策定を進めている「第2期亀山市歴史的風致維持向上計画」において、金王道や安楽越の位置付けを検討しています。 	769

6 都市の新定番

まちの拠点性向上をめざし「**亀山駅周辺街区の再開発事業**」を進めます。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<p>■平成29年に亀山駅周辺地区・2ブロック市街地再開発準備会が設立され、平成31年3月15日には亀山駅周辺2ブロック地区市街地再開発組合の設立認可を受け、第一種市街地再開発事業に着手しました。令和2年3月19日には権利変換計画認可を受け、令和2年度より各種工事に着手しました。本年11月6日には、施設建築物新築工事の起工式が行われました。</p>	313,557

将来の**リニア停車駅**を活かした地域づくりへの調査研究を進めます。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<p>■平成29年度に「リニア中央新幹線中間駅設置・開業による影響把握調査」を実施し、亀山市内に停車駅が設置された場合の社会・経済的な影響・効果について調査分析を行い、リニアを活かしたまちづくりについての研究を進めました。</p>	225

美しく風格あるまちを目指す「歴史的風致維持向上計画」を推進します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■歴史的な町並みの保存整備を図るため、歴史的風致維持向上基本計画に基づき、旧佐野家の環境整備工事と関の山車会館整備工事を行うとともに、国の重要伝統的建造物群保存地区である関宿の修理修景事業を継続的に実施し、その保存修理修景完了率は57%を超えました。また、現在、「第2期亀山市歴史的風致維持向上計画」の策定を進めています。 	37,571

地域の「ちびっ子広場」整備支援と公園へのベンチ・健康遊具等の設置を拡充します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■令和元年度には下庄自治会の公園新設、令和2年度には下白木自治会の公園のブランコやベンチの修繕に対し補助を行うことにより、地域の公園の整備支援を行いました。 ■平成29年度に西野公園東屋設置工事を、令和2年度に亀山公園（ますみ公園）整備工事を行い、西野公園内テニスコート横東屋及びますみ公園東屋の機能拡充を図ることで、公園利用者の利便性の向上に繋がりました。 	3,104

電柱新設の原則禁止などにより、絵になる「都市景観」をつくります。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■ JR亀山駅周辺整備事業では、市街地の良好な景観形成を図るため、無電柱化事業を実施しています。 ■ 景観法に基づく届出制度の運用により、景観形成基準に即した良好な景観形成を図ることができました。さらに、景観計画のパンフレット配布等により、亀山市の景観計画について周知を図ることができました。 	166,084

公園などにある公共トイレを計画的に再生させます。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成30年度に亀山公園トイレの建替や関まちなみ文化センター・関宿観光駐車場トイレの洋式化等を進め、令和元年度・2年度に西野公園トイレの建替を行うなど、公園施設の利便性に配慮し、老朽化した公共トイレ等を計画的に再生させることができました。また、現在、ますみ児童公園のトイレ修繕についても取り組んでいます。 	10,936

地域が主体となる新しいバス運行形態やデマンド交通の実現を支援します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■コミュニティバス路線の再編を行うとともに、市民の移動需要の実情に効率よく対応でき、鉄道・バスを補完する新たな交通手段として、市内全域での乗合タクシー「のりかめさん」の運行を開始しました。 ■平成30年10月から公共交通の施策として「乗合タクシー制度」を導入したことに伴い、高齢者のタクシー料金助成事業については、対象者を心身等の事情により乗合タクシーに乗車することができない人とし、必要な人に必要な施策が提供できるよう見直しました。 【交付者数】 H29：4,095人、H30：3,911人、R1：3,462人 ■乗合タクシー「のりかめさん」の更なる利便性向上に向け、三重県のモデル事業として、スマートフォン予約やAIによる配車などの実証実験に取り組んでいます。 	51,437

犯罪抑止のため都市公園等への防犯カメラの設置拡大をはかります。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
3	<ul style="list-style-type: none"> ■防犯カメラの設置は、犯罪の抑止や事件・事故の解決に重要な役割を果たすことから、小・中学校、保育所、幼稚園、認定こども園や市の各機関への設置に加え、令和2年度には西野公園に防犯カメラを設置しました。 	60

下水道の事業拡大による生活排水処理率・90%の達成を早期に実現します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■本町南部、城跡北部、井田川・能褒野、亀山東部、布気、野村の各処理分区において下水道管渠布設工事を行うとともに、合併処理浄化槽への転換、新設に対し補助金の交付を行いました。 <p>その結果、令和元年度末における汚水処理人口普及率は88.3%となりました。</p>	240,672

活力の基盤「新名神・鈴亀道路・R1バイパス」などの交通インフラ整備を促進します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■国及び県に対して、路線ごとに整備要望を年1回行い、インフラ整備の促進に努めたことにより、新名神高速道路三重県区間(新四日市JCT~亀山西JCT)については平成31年3月17日に全線開通し、同年12月21日には亀山西JCTが完成し、東名阪自動車道の慢性的な渋滞が解消されました。 ■都市計画道路西丸関線のうち、国道1号亀山バイパス以西の県道亀山関線及び市道野村布気線の区間については、令和元年7月19日に全線開通し、交通の利便性向上につながりました。 	251

熊本地震等の教訓により住宅耐震化支援の継続とハザードマップを刷新します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■住宅耐震診断、補強計画、補強工事、除去工事等について補助金を交付し、住宅耐震化を支援することができました。また、公道に面したブロック塀の撤去に関して助成金を交付し、災害に強いまちづくりに寄与することができました。 ■市民の方が、安全な避難の確保に努めて頂けるよう、洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ、ため池ハザードマップ、地震ハザードマップその他各種防災情報を掲載した、解りやすく、見やすい総合防災マップの令和2年度末の完成に向け進めています。 ■市内高齢者や障がい者の住宅に対し、家具等の転倒防止固定器具の取付や配布により、地震発生時の予防措置に貢献することができました。 	18,766

友好提携都市/岡山県高梁市・青森県五所川原市との市民・人事の交流を行います。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<p>■職員の人事交流については、平成29年度にかめやま文化年2017のファイナルに合わせ、文化に特化した短期間の職員間交流を行いました。</p> <p>高梁市との歴史・文化交流として、市芸文協会員、かめやま文化年プロジェクト推進委員会委員を使節団として派遣し、団体間の交流を深めることができました。また、高梁市からも文化団体を招待し、ミュージカルの披露や高梁市の松山踊りや亀山市の灯おどりの披露などを行い、両市のつながりや文化を多くの方に知っていただく機会とすることができました。</p> <p>■平成30年7月豪雨の際には、岡山県高梁市との災害時相互応援協定に基づき、物資の支援、見舞金による支援、ふるさと納税代理寄付金の手続きによる支援を実施しました。</p>	489

安全のための「空き家対策」と地籍調査を推進します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特定空家等に対して解体や適正管理に関する助言や指導を行うとともに、空き家情報バンクを運営し、空き家の売買や賃貸を促進し活用につなげることができました。 ■ 中町②地区（平成29年度）、本町②及び中町③地区（平成30年度）及び北裏①地区（令和元年度）において地籍調査事業を行い、同時に狭あい道路事業の中心線立会いも実施したことにより、事業の効率を高めることもでき、個人財産保全の負担軽減につなげることができました。また、みずほ台①地区（平成29年度）において官民先行調査を行い、大規模災害発生時に迅速なライフラインの復旧が可能となるよう官民境界を明確にすることができました。 	5,735

7 市民の新定番

22地区のまちづくり協議会が進める共助の活動を「地域予算制度」で応援します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<ul style="list-style-type: none"> ■平成29年度に、地域の課題解決をはかるための地域まちづくり交付金と、より積極的な事業展開を行う場合に交付する地域活性化支援事業補助金の2つの助成制度で構成する「地域予算制度」を創設して、地域まちづくり協議会に財政的支援を行うことで、地域特性に応じた主体的な地域まちづくり活動が展開されました。 	9,455

現在三重県一である各種審議会への女性参加率・未踏の40%を達成します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■人口減少が進む中、男女が性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮する機会が確保され、様々な分野で活躍できる社会の実現に向け、男女共同参画基本計画に基づき、市民一人ひとりの意識啓発に努めました。 ■市の政策・方針決定過程へ女性の視点を取り入れることにより、市のあらゆる分野において多様な価値観と発想が取り入れられると考え、各種審議会等における女性の登用率について、目標を40%に設定し取り組んでいます。 <p>【各種審議会等における女性の登用率】</p> <p>H31. 4. 1現在：32. 9%</p> <p>R 2. 4. 1現在：32. 0%</p>	—

シニア世代の皆さんの雇用促進・健康づくり・仲間づくりを支援します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■一人暮らし等の高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護用品の支給、配食サービスや緊急通報システムなど、必要な人に必要なサービスを提供することができました。また、高齢者の生きがいづくりや介護予防につなげる取組として、老人クラブやシルバー人材センターの活動を支援しました。 ■新型コロナウイルス感染症対策に伴う緊急雇用対策として、会計年度任用職員を募集しました。 	10,610

地方創生「若者未来会議」を通じた学生・青年の社会参加を促進・協働します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■かめやま若者未来会議では、各年度の事業目標（テーマ）を段階的に設定し、市イベントへの参加や先進地視察、交流会などの事業に取り組み、令和元年度については、住みやすい、楽しい、誇れるまちの実現に向けた「まちづくりアイデア（政策提言）」の取りまとめが行われました。 	198

受益者分担の原則に基づき、誰もが迎える最期の「火葬の無償化」を検討します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
2	<ul style="list-style-type: none"> ■検討を行った結果、本市の火葬施設使用料の受益者負担率はゼロではないものの、近隣自治体の状況との比較において十分に低い水準にあると考えられることから、「受益者負担の適正化に関する基準」に照らし、現行水準を維持することとしました。 	—

特殊詐欺などの被害を未然に防ぐための**消費者行政**の機能を高めます。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■消費者被害の防止のため、かめやま・安心メールや出前講座の開催により啓発活動を行っています。令和元年度からは、市HPにて全国で発生している詐欺被害等を毎月公開しています。 ■消費者被害が日々複雑化する中で、鈴鹿亀山消費生活センターとの情報共有を徹底し、市民に向けた啓発活動及び相談体制の充実を図っています。 	2,933

市民活動応援制度「**えがおカード**」による支えあいの循環を促進します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■市民活動応援制度の実施から7年目を迎え、登録団体数と応援券の使用率は増加傾向であり、市民活動の活性化が図られ、支えあいの循環は促進されています。 ■市民参画協働事業推進補助金については、毎年スタートアップ補助金を交付して、市民活動を始める団体への財政的支援を行っています。また、年6回相談所を設置し、市民活動団体からの活動支援に関する相談の体制を整えています。 	2,918

夏の風物詩「**納涼大会**」に新しい魅力を加えます。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
3	<ul style="list-style-type: none"> ■例年実施してきた「灯おどり」の市民総おどりに、本市の伝統芸能の一つである「葛葉太鼓」を組み合わせることにより、納涼大会の魅力を高めることができました。 	2,713

防災・減災のための**自主防災組織**の設立100%を達成します。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
3	<p>■新たな住宅団地の開発に伴い結成された自治会や自主防災組織が結成されていない自治会に、自主防災組織の必要性を認識いただくよう働きかけるとともに、防災資機材の支給や購入等に対する補助を行うことにより、現在、自主防災組織が201団体結成され、地域防災訓練や防災講座等が実施されるなど、各地域における自助・共助を基本とした防災力の向上及び防災意識の醸成に繋げることができました。</p>	863

G7ジュニアサミットin三重の経験を活かし、国際交流への醸成をはかりま

す。

取組結果	取組内容	関連事業費 (万円)
5	<p>■コミュニケーションツールとなる日本語の習得のため、市民活動団体と協働で日本語教室を開催しています。広報紙「かめやまニュース」を英語、ポルトガル語に加えて、やさしい日本語でも発行し、やさしい日本語の普及に努めるとともに令和2年2月から12言語対応の外国人生活相談窓口を開設して外国人住民の暮らしの不安解消に努め、共に地域社会の一員として暮らせる環境づくりを推進しました。</p>	2,438

 「まちの記憶」としての市民生活・まちづくりなどを記録するしくみをつくりま

す。

取組 結果	取組内容	関連事業費 (万円)
2	■市民生活を記録するしくみについて検討を行いました。なお、市制施行15周年に当たり作成した市勢要覧において、15年の振り返りを掲載しました。	470

Quality of Life。

すべては未来のために!